

## 大学院工学研究科生が

# Best Poster Award for Young Researcher を受賞

8月に京都大学芝蘭会館 稲盛ホールで開催された International Symposium on Fluctuation and Structure out of Equilibrium 2015 において、大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻 長屋研究室の佐藤裕樹さんが Best Poster Award for Young Researcher を受賞しました。

審査対象となったのは、院生・ポスドク等の若手研究者 129 名で、佐藤さんを含めて6名が選ばれました。受賞者の所属は、東京大学 3 名、北海道大学 1 名、大分大学 1 名、台湾国立中央大学 1 名と、世界トップクラスの若手研究者と肩を並べての受賞となりました。

この国際会議は、文部科学省科学研究費補助金の新学術領域研究(研究領域提案型)「ゆらぎと構造の協奏：非平衡系における普遍法則の確立」代表者：東京大学 佐野雅己教授が主宰し、アジア、アメリカおよびヨーロッパ各国から物理・生物・化学系の理学系研究者が集まりました。佐藤さんは、液晶に流れを起して電気を掛けると、動的な縞状の対流が発生するという新事実を発表し、非平衡物理学の分野の重要な知見をわかりやすく発表したことが高く評価されました。

